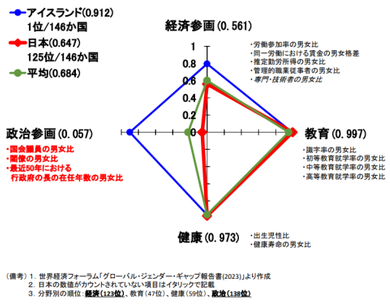
SDGs新聞	株式会社コーセー
子育てもお仕事もみんなのもの	

SDGsラジオを読んでみよう！

仕事は男性のもの。育児は女性のもの。そのようなことは決してありません。
子育てをしながらでも、性別を問わず、誰もが自分らしく輝きながら働き、暮らしていくこと。
これもSDGsの達成にはとても大切です。
化粧品会社のコーセーでは、子育て中の社員を応援する、「パパママラウンジ」という、情報交換の場を設けています。
このパパママラウンジでは、新米のパパやママが困りごとを相談し合ったり、社内の先輩パパ・ママから、
「どうすれば育児と仕事が両立できるのか？」というアドバイスをもらうなど、いろいろなサポートが行われています。
困りごとをみんなで解決して、みんなが育児と仕事を楽しんでいくこと。
このように気軽に相談し合える関係やコミュニケーションがもっと広がれば、
みなさんが社会に出る頃には今よりも子育てがしやすくなるでしょうね。
まずは今から家事のお手伝いなど、家族みんなで協力し合うことから取り組んでみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



順位	国名	値
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
15	英国	0.792
30	カナダ	0.770
40	フランス	0.756
43	アメリカ	0.748
79	イタリア	0.705
102	マレーシア	0.682
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
124	モルディブ	0.649
125	日本	0.647
126	ヨルダン	0.646
127	インド	0.643

（備考）1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2023)」より作成
2. 日本の数値がカウントされていない項目はイタリックで記載。
3. 分野別の順位：**経済(123位)**、教育（47位）、健康（59位）、**政治(138位)**

画像参照：ジェンダー・ギャップ指数（GGI）2023年｜内閣府

スイスのジュネーブに本部を置く「世界経済フォーラム」によると、性別の違いによる格差を示す「ジェンダー・ギャップ指数」の日本の順位は、146か国中125位（2023年）と大変低い結果になりました。この格差は年々少しずつ小さくなっていますが、まだまだ男女が平等に活躍できる社会とは言いがたいです。一方で社会では今、さまざまな企業が男女を問わず、仕事と家事・育児を両立して、すべての社員たちがイキイキと働けるさまざまな取り組みを進めています。SDGsの開発目標5「ジェンダーの平等を実現」するためにも、男女が平等に社会で活躍することはとても重要です。

画像参照：コーセー公式サイトより

化粧品会社のコーセーでは、性別を問わず社員のみなさんが「仕事と育児」を無理なく両立できるように、「パパママラウンジ」という情報交換の場を設けています。このパパママラウンジでは、子育て中のパパママ社員のみなさんが、仕事と子育てを両立する中で出会う悩みや不安を相談し合うことができます。また他にも、さまざまなサポートを行っています。コーセーのような企業がもっともっと増えれば、みなさんが社会に出る頃には今よりも子育てをしやすく、誰もがイキイキと働ける世界になっているかもしれません。

キーワード

世界経済フォーラム

政治や経済、学術をはじめとした各分野のリーダーたちが集まり、世界が抱えるさまざまな問題に対して議論し、解決策を模索することを目的としています。1971年に設立され、スイスに本部を置いています。

ジェンダー・ギャップ指数

男女がどれだけ平等に扱われているかを調べるものです。世界経済フォーラムが、世界中の国を調べていて、男女が同じようにチャンスをもって生活できるかを見る大切な数字です。

対象ゴール

みなさんにできること！

「性別による格差」を少なくするために、何ができるか？みなさんも考えてみましょう。

おさらい

- 「ジェンダー・ギャップ指数」の日本の順位は、146か国中125位（2023年）と非常に低い。
- 性別を問わず、社員たちが「仕事と子育て」を両立できるようにサポートする企業が社会で増えている。
- コーセーでは「パパママラウンジ」という情報交換の場を設け、子育てに励む新米パパママをサポートしている。

メモ

SDGsラジオ